

# 県立総合運動公園周辺に見られる野鳥

一般的なもの:ヒヨドリ、ホオジロ、シジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、カワセミ、シロハラ、ツグミ、コゲラ、ハクセキレイなど

 <p>ヒヨドリ</p>	<p>全長 約 27.5cm。頭部から胴体は灰色の羽毛に覆われるが、頬に褐色の部分があり、よく目立つ。また、頭頂部の羽毛は周囲よりやや長く、冠羽となっている。翼や尾羽は灰褐色をしている。</p>	 <p>ホオジロ</p>	<p>成鳥は全長 17cm ほどでスズメ とほぼ同じ大きさだが、尾羽が長い分だけ大きくみえる。成鳥の顔は喉・頬・眉斑が白く目立ち、「頬白」の和名はここに由来する。</p>
 <p>シジュウカラ</p>	<p>全長 13-16.5cm。種小名 <i>minor</i> は「小さな」の意だが、シジュウカラ科の中では大型種である。上面は青味がかかった灰色や黒褐色、下面は淡褐色の羽毛で覆われる。頭頂は黒い羽毛で被われる。</p>	 <p>ヤマガラ</p>	<p>全長 13-15 センチメートル。頭部は黒い羽毛で被われ、額から頬、後頭部にかけて明色斑が入る。下嘴基部(腮)から胸部にかけて黒い帯模様が入る。尾羽の色彩は黒褐色。</p>
 <p>メジロ</p>	<p>全長 12cm 前後で、スズメよりも小さめ。緑がかかった背と暗褐色の羽を持ち、雌雄同色。目の周りの白い輪が特徴であり、名前の由来ともなっている。</p>	 <p>カワセミ</p>	<p>体長は 17cm ほどで、スズメほどの大きさ。くちばしが長く、頭が大きく、首、尾、足は短い。くちばしは黒いが、メスは下のくちばしが赤いのでオスと区別できる。また、若干雌より雄の方が色鮮やかである。頭、頬、背中が青く、頭は鱗のような模様がある。</p>
 <p>シロハラ</p>	<p>体長は 25cm ほどで、ヒヨドリよりわずかに小さい。ツグミ類らしく嘴と脚がよく発達した体型をしている。ほぼ全身が灰褐色で、和名の通り腹部が白っぽい。見かけはアカハラやマミチャジナイなどに似るが体に橙色の部分はない。</p>	 <p>ツグミ</p>	<p>全長 24 センチメートル。翼開張 39 センチメートル。色彩の個体変異が大きく、下記 2 亜種の間中型もいる。嘴の色彩は黒く、下嘴基部は黄色。後肢の色彩はピンクがかかった褐色。頭頂から後頭の羽衣は黒褐色、背の羽衣は褐色。喉から胸部は淡黄色、胸部から腹部の羽衣は羽毛の外縁(羽縁)が白い黒や黒褐色。</p>
 <p>コゲラ</p>	<p>全長 15cm ほどで、スズメと同じくらいの大きさ。日本に生息するキツツキとしては最も小さい。オスよりメスがやや大きい。灰褐色と白のまだら模様の羽色をしている。南方に分布するものほど体色が濃くなる傾向がある。</p>	 <p>ハクセキレイ</p>	<p>体長 21cm ほどで、ムクドリよりやや小さめで細身。他のタイリクハクセキレイ亜種より大型になる。頭から肩、背にかけてが黒色または灰色、腹部は白色だが胸部が黒くなるのが特徴的である。顔は白く、黒い過眼線が入る。</p>

※チャンスがあれば下記の野鳥も見ることができるかもしれません。

留鳥:ゴイサギ、コサギ、キジバト、キセキレイ、モズ、ウグイス、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス、セグロセキレイ、ダイサギ、アオザギ、ソウシチョウ、カワガラスなど

夏鳥:ツバメ、ホトギス、キビタキ、エゾビタキなど

冬鳥:ノスリ、ルリビタキ、アオジ、イカル、シメ、コガモ、マガモ、カルガモなど

渡り鳥:アカハラ、メボソムシクイ、センダイムシクイなど

※来園者の皆様が園内で見られた、野鳥の名前及び野鳥の写真をご提供下さい。また、見かけた場所等の情報もご提供下さい。

※情報提供は直接管理事務所に行うか、ご意見箱(事務所、球技場詰所、補助競技場詰所)に投函下さい。

公園管理事務所



イソヒヨドリ

体長は 23cm ほどで、ヒヨドリよりは少し小さい。磯に多く生息していて、ヒヨドリに似ていることからこの和名がついているが、分類上はヒヨドリ科ではなくツグミ科で全く別の鳥である。



エナガ

体長 12.5-14.5cm。体重 5.5-9.5g。体長は長い尾羽の先までの長さを含むので、実際に見た印象はスズメよりずいぶん小さい。くちばしと首が短く丸っこい体に長い尾羽がついたかわいらしい小鳥である。目の上の眉斑がそのまま背中まで太く黒い模様になっており、翼と尾も黒い。肩のあたりと尾の下はうすい褐色で、額と胸～腹は白い。



ムクドリ

全長 24cm ほどで、スズメとハトの間ほど。尾羽を加えるとヒヨドリより一回り小さい程度の大きさ。翼と胸、首は茶褐色で、首から頭にかけてと腰に白い部分が混じり、足と嘴は黄色い。なお、雄は胸や腹・背が黒っぽく、雌は褐色に近い。



ニューナイスズメ

全長約 14cm。雄はスズメに似ているが頬に黒点がなく、頭部と背面はスズメよりもあざやかな栗色をしている。雌は薄茶色で、太い黄土色の眉斑が目立つ。スズメ科の鳥類。民家近くに生息するスズメとは対照的に、林や森などを好む。



ジョウビタキ

体長は 13.5-15.5cm、体重 13-20g。スズメよりわずかに小さい。オスは頭上が白く、目の周りが黒いのが特徴である。メスは頭が淡褐色でオスとは簡単に見分けられる。胸から腹、尾にかけてはオスメスとも橙色をしている。



ツミ

全長オス 27cm、メス 30cm。翼開長 50-63cm。体重 75-160g。漢字表記の雀は「小さい」の意で、和名はスズメタカが変化したメスに対する呼称に由来する。下面は白い羽毛で覆われる。眼の周囲は黄色。



マヒワ(雄)

全長 12-12.5cm。尾羽は黒い。翼は黒く、羽縁は黄色。嘴は細く、色彩は薄いオレンジ色。オスの成鳥は喉と額から後頭が黒い羽毛で覆われる。顔や胸部、腰は黄色い羽毛で覆われる。後頭から背中では黄緑色、腹部は白い羽毛で覆われ黒褐色の縦縞が入る。メスの成鳥は上面が緑褐色の羽毛で覆われ、黒褐色の縦縞が入る。